

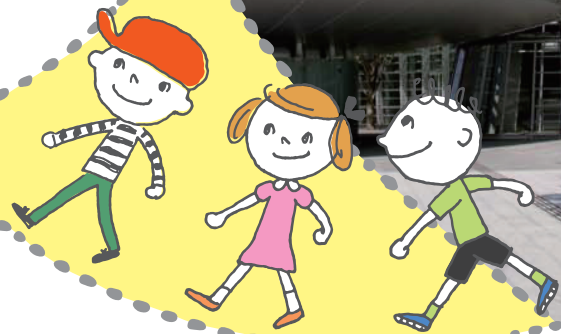
国立新美術館は2007年1月にオープンした、
日本で5つめの国立の美術館。
大きくて広い展示室が12室もあって、日本や海外の
美術を紹介するいろいろな展覧会を同時にいくつも
ひらくことができるんだ。
おもしろい形をした建物は、建築家の黒川紀章さんが、
見た目の美しさや環境との調和を考えながら設計したんだよ。
美術館の周りには青山霊園や青山公園があって、緑がいっぱい。
だから、この美術館もゆたかな自然とけこむように、
「森の中の美術館」をイメージして設計されているんだ。
建物の中には、美術館に来る人や展示されている作品のための
しくみがたくさんかくれているよ。
このガイドを持って、たんけんしてみてね！



開館時間 午前10時～午後6時（企画展会期中の金曜日は午後8時まで）
休館日 毎週火曜日（祝日または休日のときは開館、翌平日が休館）、年末年始
ホームページ <http://www.nact.jp/>

国立新美術館 施設ガイド てくてくマップ【2016年改訂版】

編集 国立新美術館 教育普及室
執筆 【初版】北川知美、篠田怜美（平成19年度インターン）
【改訂版】佐藤詩織（平成27年度インターン）
デザイン 斉藤紀久美
制作 印象社
発行 国立新美術館 ©2016
東京都港区六本木7-22-2



クイズの答えをさがしながら **てくてく** 歩いてみよう！
中から見たり外から見たり。
ゆっくり観察してみてね！



4



ゆか
床にあるこれ、なんだろう？

3



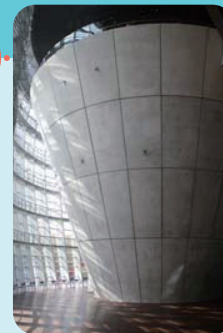
美術の本がたくさん読める
場所をさがしてみよう！

2



竹のお庭は
美術館のどこにあるかな？

1



この上には何があるのかな？
3階に行ってみよう！

5



「光 松本陽子／野口里佳」展示風景

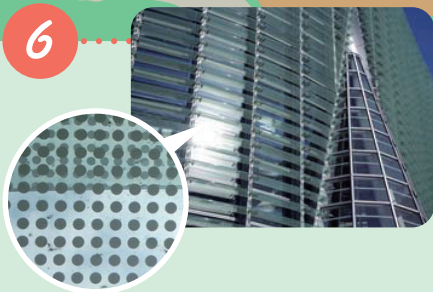
さまざまな てんらんかい 展示会をおこなう
展示室の てんじつ ひみつは何かな？

7



ここは、あるものを置く場所だよ。
あるものってなんだろう？

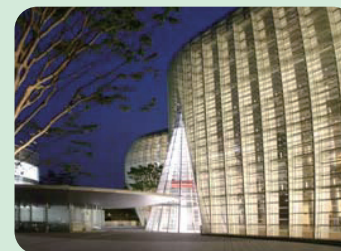
6



水玉もようには大切な働きがあるよ！
どんな働きだと思う？

8

館内を明るくする
ライトはどこに
かかれていると思う？





正面入口の近くにある小さな建物は、美術館の「別館」。美術館ができる前にあった建物の一部が保存されているよ。1928年に鉄筋コンクリートで建てられた、貴重な建物なんだ。



4

これ、実は冷房や暖房のふき出し口。美術館は天井

が高く、上から風を送っても、なかなかみんなの所まではとどかない。だから、ここから風を送って、温度や湿度を調節しているんだ。



風が出ているよ。手を当ててみよう！

かべを全部とると、ひとつの大きな部屋に！



おみやげを買うなら、1階と地下1階にあるミュージアムショップ「スーベニアフロムトーキョー」へ！美術館のオリジナルグッズや、ステキなおみやげがいっぱいあるよ。



3

3階にあるアートライブラリーは、美術についての本が集められた図書室。美術館に来た人はだれでも入れるよ。

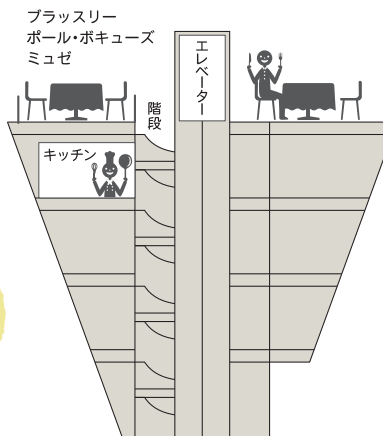


2

竹のお庭は見つかったかな？この他にも、美術館のしき地にはいろいろな種類の植物がいっぱい！どの季節にも、花や緑を楽しめるようになっているんだよ。他にも緑をさがしてみよう！

1

答えはレストラン！コーンとよばれる逆円すいの中には、料理を作るためのキッチンがあるよ。料理は、そこからエレベーターにのせて3階に運ばれてくるんだ。



館内にはカフェが3ヶ所あるよ。地下1階の「カフェテリア カレ」、1階の「カフェ コキュー」、そして2階の「サロン・ド・テ ロンド」。おしゃれなカフェでひとやすみ。



8

答えは、かべの中。内側にたくさんの蛍光灯がついて、かべ全体が光るから「光かべ」とよばれているよ。こうすることで、夜でもみんなの足元まで明るくてらすことができるんだ。

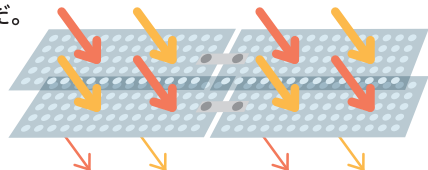
このかべは日本で昔使っていた“行灯”のイメージで作られているよ。

これがかべの中だよ！



6

ガラスについている水玉もようは、美術館に入る日光の量や熱を少なくする働きをしているよ。人や作品のためを考えて、美術館の中がまぶしくなりすぎたり、暑くなりすぎたりしないように工夫されているんだ。



7

これはカサ立て！ここだけで約1000本のカサが入る！長いカサを持っていると、作品にカサが当たって傷つけてしまう心配があるよね。だからカサは入口で置けるようになってるんだ。みんなもカサはここにあずけてね。

